



7/31 てっしフェスティバルに12,100人の人出

『てっしフェスティバル』が天塩川河川敷で開催され、過去最高となる12,100人が訪れました。

第一部は、風連御料太鼓、名寄太鼓による勇壮な演奏。北鼓童なよろ、嗚呼ワットサム、美深あっぱれ隊、Sinなどによるよさこいの演舞。あすばLOVEキッズによる唄の披露がありました。

第二部、中村あゆみライブコンサートのヒット曲「翼の折れたエンジェル」では、観衆も一体となり、会場は熱気にあふれ盛り上がりを見せました。

第三部は、まつりのフィナーレを飾る恒例の花火大会。今年、新たに加わった『ひまわり』の打ち上げ花火。夜空に元気なひまわりが描き出されると、観衆から一斉に歓声があがりました。



8/10 児童センターでこども縁日

今回2回目となる児童センターまつり『こども縁日』が開催され、利用者などの親子連れ約100人が参加しました。

バルーンアート、ヨーヨーコーナー、しおりづくり、ビンゴゲームなどの催しを楽しみました。また、フランクフルトなどの販売もあり、かき氷コーナーには長蛇の列ができ、人気を集めていました。



8/10 北国博物館で夏休み体験講座

北国博物館主催の体験講座『昆虫採集に行こう』に小学生20人が参加し、昆虫採集と標本づくりにチャレンジしました。

講師の旭川在住、末武英一氏から採集の方法を教わり、さっそく名寄公園にくり出し、昆虫を採集。チョウやトンボを捕え、午後は標本づくりを行いました。道北自然観察指導員会会員や職員のサポートを受けながら用意された展示用の台にチョウをとめ、標本づくりを体験しました。

博物館ギャラリーホールでは『花に集まる虫たち～チョウ・ハチ』の展示会も行われました。



8/14,18 サンピラーパークで名寄を楽しむ

映 画『星守る犬』のロケ地となったサンピラーパークのひまわり畑には連日、多くの市民や観光客が訪れました。今年は、映画のひとコマで映し出されたライトアップしたひまわりを8月14日と18日に再現。訪れた人は、ロケセット付近からの幻想的な雰囲気を堪能しました。

また14日、名寄市利雪親雪推進市民委員会が真夏に涼をとったり、雪遊びをしてもらおうとロケセットの奥津家裏に約3トンの雪を運び込みました。

夏休みを利用し、九州や関東から帰省中の親子連れなど約120人が訪れ、雪を触ったり、小さな雪だるまを作り「冷たくて、気持ちいい」と雪の感触を楽しんでいました。

今回運んだ雪は、3月から風連地区の農産物出荷調整利雪施設で保管されていました。



8/19 名寄ふるさと大使に『星守る犬』のプロデューサー

名 寄市の知名度アップに貢献していただいている映画『星守る犬』のラインプロデューサー竹山昌利氏を名寄ふるさと大使に委嘱しました。

竹山氏は、名寄市がメインロケ地に決定するに至った立役者。撮影中も市民と交流を深め、今年3月には、市民団体主催による講演会の講師を勤め、名寄を客観視したうえでの効果的なアピール方法も提言。今後も全国各地に持つ人脈を活かした名寄のPRが期待されます。



8/24 柔道世界選手権で佐藤愛子選手が金メダル！

名 寄市出身の佐藤愛子さんが、フランス・パリで開催された柔道世界選手権57キロ級で初優勝。佐藤選手は2007年の同大会では3位。北京オリンピックでけがを負って以後、苦闘の日々を送りながらも見事代表に帰り咲き、今大会では、準決勝、決勝ともに一本勝ちで勝利をおさめました。ロンドンオリンピック出場への期待が高まります。



2007年に来名した佐藤愛子選手▲